

白眉プロジェクト

佐藤弥 (特定准教授)

<研究概要>

A) 表情コミュニケーションについての実験心理学的研究

佐藤弥

表情や視線による対人コミュニケーションにおける情報処理過程を、反応記録・ビデオ録画・筋電図計測などにより検討した。定型発達者および発達障害者を対象とした。

B) 表情コミュニケーションについての神経科学的研究

佐藤弥

表情や視線による対人コミュニケーション課題を遂行中の神経活動を、fMRI・深部脳波などを用いて計測した。

<研究業績>

原著論文

- 1) Fujimura T, Sato W, Suzuki N (2010) Facial expression arousal level modulates facial mimicry. *International Journal of Psychophysiology* 76(1):88-92.
- 2) Sato W, Kochiyama T, Uono S, Yoshikawa S (2010) Automatic attentional shifts by gaze, gestures, and symbols. *Psychologia* 53(1):27-35.
- 3) Uono S, Sato W, Toichi M (2010) Brief report: Representational momentum for dynamic facial expressions in pervasive developmental disorder. *Journal of Autism and Developmental Disorders* 40(3):371-377.
- 4) 中村透, 山本松樹, 佐藤弥 (2010) 映像刺激環境における心理状態と生理指標との相関モデルの研究. *生体医工学* 48(2):197-206.
- 5) Sato W, Kochiyama T, Uono S, Matsuda K, Usui K, Inoue Y, Toichi M (2011) Rapid amygdala gamma oscillations in response to fearful facial expressions. *Neuropsychologia* 49(4):612-617.
- 6) Sato W, Kochiyama T, Yoshikawa S (2011) The inversion effect for neutral and emotional facial expressions on amygdala activity. *Brain Research* 1378:84-90.

総説

- 1) 佐藤弥 (2010) チンパンジーとの比較から学ぶヒトの視線処理の進化：友永論文へのコメント. *心理学評論* 53(3):315-317.

著書 (分担執筆)

- 1) 佐藤弥 (2011) 表情. 「心理学概論」(京都大学心理学連合編) p.162-166 ナカニシヤ.

学会発表

- 1) Sato W, Kochiyama T, Uono S, Yoshikawa S (2010) Commonalities in the neural mechanisms underlying automatic attentional shifts by gaze, gestures, and symbols. *Neuro Talk 2010* (2010/06, Singapore, Singapore).
- 2) 佐藤弥 (2010) 情動における扁桃体の役割. 第51回日本児童青年精神医学会 (2010年10月, 前橋).
- 3) 佐藤弥 (2010) 情動コミュニケーションと脳：扁桃体の役割. 第5回日本情動研究会 (2010年9月, 京都).
- 4) 佐藤弥, 河内山隆紀, 魚野翔太, 松田一己, 臼井桂子, 井上有史, 十一元三 (2010) 恐怖表情に対する扁桃体のすばやいガンマ波活動. 第6回犬山比較社会認知シンポジウム (2010年12月, 犬山).
- 5) 魚野翔太, 佐藤弥, 十一元三, 河内山隆紀 (2011) 自閉症スペクトラム障害における動的表情処理の神経基盤. 日本発達心理学会第22回大会 (2011年3月, 東京).

講演

- 1) 佐藤弥 (2010) 感情脳—感情における扁桃体の役割— 滋賀大学 健康セミナー 滋賀大学.